

事業実績シート（研修及び調査・研究）

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> 研修機関派遣事業（ <input type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input type="checkbox"/> NERC） <input checked="" type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業			
自治体(団体)事業名	長崎県市長会 市長行政研修			
所管局部課	自治体（団体）名	所管部・課名	担当者名	連絡先（TEL）
	長崎県市長会		末長 賢一	095-811-4955
事業期間	開始年	平成24年7月12日（6年目）		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	（開始日） 29年7月10日 （完了日） 29年7月11日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先（TEL）
（委託内容）				
研修及び調査・研究の目的 ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象（誰を・何を）		目標・目的	
	13市		行政運営の効率化及び地域の活性化を図る。	
研修及び調査・研究の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	長崎県市長会 市長行政研修 日 時：平成29年7月10日(月)から11日(火)まで 場 所：島根県雲南市、岡山県真庭市 参加者：県内13市長ほか随行者、市長会事務局 【島根県雲南市】 (1) 入間コミュニティ協議会現地視察 雲南市の担当者から地域自主組織の全体的な説明を受けた後、入間コミュニティ協議会の担当者から、当協議会の取組みについて説明を受けた。 その後、意見交換を行った。 (2) 波多コミュニティ協議会現地視察 波多コミュニティ協議会の担当者から、当協議会の取組みについて説明を受けた後、意見交換を行った。			

事業実績シート（研修及び調査・研究）

	<p>(3) 雲南市役所訪問及び視察 速水雲南市長の挨拶後、新市庁舎建設について、担当課からの説明後、意見交換を行った。その後、コミュニティナースより説明を受けた後、意見交換を行った。</p> <p>【岡山県真庭市】</p> <p>(1) 真庭市役所訪問及び視察 太田真庭市長の挨拶後、バイオマス産業都市構想について、真庭市長からの説明後、意見交換を行った。</p> <p>(2) バイオマスツアー 真庭観光連盟の案内のもと、銘建工業(株)本社工場、真庭バイオマス集積基地第2工場及び真庭バイオマス発電(株)を視察した。</p>
<p>研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状</p>	<p>(事業開始の背景) 平成24年4月に開催された市長会議において、フリーゲージトレインの視察を行うことを決定し、香川県を訪問したことが本事業創設のきっかけとなった。</p> <hr/> <p>(経緯・現状) 雲南市においては、小学校区単位を基本として設置されている地域自主組織を核とした住民主体のまちづくりを実践していること、真庭市においては、基幹産業である林業・木材産業関係の事業者が多く、市内に豊富にある木材等を活用した地域活性化に取り組んでいることから、市長行政研修で訪問することとなった。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		2,226,383	133,860	2,462,270					
（財源内訳）	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	699,639	100,533	701,028					
	市町振興共同事業助成金	1,526,744	33,327	1,761,242					
	一般財源								
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	参加市長	県内の市長が共通のテーマで視察研修に参加することで共通の認識を持つことが出来る。	市	目標	13	13	13	
					実績	11	0	13	
				目標達成率（％）	85	0	100		
	②	総合計画等への反映	各市の総合計画や各種施策等に反映させることで、よりスピード感を持って施策を推進することができる。	市	目標	13	13	13	
					実績	11	0	13	
目標達成率（％）				85	0	100			

3 事業の振り返り

必要性の点検	（１）実施することによるメリット
	<p>（内容、程度等）</p> <p>市政運営を行う市長が一堂に会し、同じテーマに関する視察研修を行うことで、共通の認識を持つことができるとともに情報を共有することができる。また、視察後においても様々な情報交換（県内だけでなく視察した市とも）ができるので、より効果的に各市の施策等に反映することができる。</p> <p>1日目の島根県雲南市については、現在、30の地域自主組織が活動しており、そのうちの2つの協議会を視察させていただいたが、どちらの協議会も地域の実情を分析し、住民が主体となってまちづくりに取り組んでいる姿にコミュニティの強さを感じた。</p> <p>また、同市が中心となっている小規模多機能自治推進ネットワーク会議について、県内全市加入の意見が出るなど、自治体間のつながりも深まったのではないかと感じた。</p> <p>2日目の岡山県真庭市については、地域資源である森林を余すことなく活かすしくみが構築されており、また、そのしくみを視察するツアーが組まれるなど、地域の一体化が感じ取れた。</p> <p>このことから、これからの自治運営にあたっては、自らのまちの強み・弱みは何なのかを現状分析したうえで、どのような取り組みやしくみが自分たちの地域の活性化につながるのかを見出し、住民みんなでより良いまちづくりに取り組んでいく必要があると感じた。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	（１）目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	（２）実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	<p>市政運営を行う市長が一堂に会し、同じテーマに関する視察研修を行うことで、共通の認識を持つことができるとともに情報を共有することができ、今後の市政運営につなげることができた。</p>	
実現性の点検	（１）事業への反映	（具体的内容）
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	県内の市長が一堂に会し、同じテーマに関する視察研修を行うことで、共通の認識を持つことができるとともに、今回訪問した自治体の先進事例を活用しながら、今後の各市の事業へ反映できる。
	（２）公共性の評価	（具体的内容）
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	今回訪問した自治体の先進事例を活用しながら、今後の各市の事業へ反映でき、新規施策や事業の質等の向上により、住民へ住民へ還元できる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■ 現状維持
	実施予定時期				
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
	実施予定時期				
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		■ 現状維持
	実施予定時期				
具体的内容	<p>市政運営を行う市長が一堂に会し、同じテーマに関する視察研修を行うことで、共通の認識を持つことができるとともに情報を共有することができ、今後の市政運営につなげることができ、また、訪問し研修を受けた自治体の先進事例を活用しながら、今後の各市の事業へ反映できるため、本行政研修は継続していかなくてはならない。</p>				